

活動団体： 特定非営利活動法人ウォーターエイドジャパン

～すべての人々がすべての場所で、清潔な水とトイレを利用し、衛生習慣を実現できる世界～

団体の活動



ウォーターエイドは、1981年にイギリスで設立された水・衛生専門の国際 NGO です。世界 34 か国に拠点を置き、26 か国で水・衛生プロジェクトを実施しています。世界では、7 億 7,100 万人が清潔な水を利用できず、17 億人が適切なトイレを利用できていません。ウォーターエイドは、「すべての人々がすべての場所で、清潔な水とトイレを利用し、衛生習慣を実現できる世界」を目指して活動をしています。

<https://www.wateraid.org/jp/>



10月15日世界手洗いの日「#あわあわハイタッチ」キャンペーンに参加したウォーターエイドジャパンのスタッフ ©WaterAid Japan



手を洗うマダガスカルの子供たち
©WaterAid/ Ernest Randriarimalala

インターンプロフィール

田川 みこ



大学時代に、カンボジアで手洗いを中心とした衛生講習会を実施する学生団体での活動や、ケニアでトイレを建設する NGO での活動を経験。民間企業での勤務を経て、また国際協力を携わりたいと思い、当団体に入職。個人支援者向けのファンドレイズを担当しています。

所属団体に活動するきっかけ

新型コロナウイルスの影響により、世界中で人々の生活にさまざまな変化があった時期に、学生時代から関心があった水・衛生分野で活動している当団体をみつけ、また国際協力に関わりたいたと思ったのがきっかけです。

どのような業務(活動)をおこなっているか

支援者サービス担当として、個人支援者向けのファンドレイズを行っています。具体的には、日々のお問い合わせ対応や個人支援者への活動報告書作成、毎月のメールマガジン配信を担当しています。また、毎月寄付をくださる支援者や寄付実績のある支援者に、「寄付してよかった」「ウォーターエイドを応援したい」と思ってもらえるような施策を検討し、ウォーターエイドの活動に賛同してくれる方を増やすことで、活動国でより多くの水・衛生プロジェクトが実施されることを目指しています。

1年目を終えて感じたこと

1年間、支援者サービスの業務に従事するなかで最も強く感じたことは、ウォーターエイドの活動は、支援者の方々が賛同してくださるからこそ成り立っているということです。また、水・衛生の課題を解決したいという想いやウォーターエイドを応援したいという想いで寄付してくださった方々と、誠実にコミュニケーションをとることの重要性を学び、感謝はもちろん、寄付の使途や活動国の状況を伝えることへの使命感をより強く感じるようになりました。

スキルアップのためにしていること

ウォーターエイドのウェビナーに参加したり、各国のウェブサイトに掲載されている記事を読んだりすることで、水・衛生分野の知見を広げています。また、外部セミナーへの参加を通じて、ファンドレイズの基礎知識やトレンド、事例などを体系的に学び、自身の業務にも活かすことを目指しています。

海外研修について ～どこで何を行う予定？

新型コロナウイルス感染拡大の状況をみながら、インド、または、ルワンダに渡航する予定です。現地では、ウォーターエイドが実施する水・衛生プロジェクトの現場を視察し、プロジェクトがどのように進められているのか、また、プロジェクト実施後はどのように水・衛生システムが維持管理されているのかを学びます。帰国後、日本の方々に現地の様子をよりリアルに、かつ正確

に伝えられるよう、準備を整えて渡航したいと考えています。

今後のビジョンは？

今後は、水・衛生分野の専門的な知識を身につけ理解を深め、日本の方々に広く発信していけるようになること、また、支援者に寄り添いながら、各国で水・衛生プロジェクトを実行するための資金集めに貢献できるファンドレイザーになることを目指しています。

国際協力分野で活動を目指す人へのメッセージ

私は、国際協力に関わりたいと思ったときの、直感を信じてよかったと今でも思っています。自分の気持ちに素直に向き合って、少しずつでも行動してみることで、目指している場所に近づけると思っています。

団体のアピール

ウォーターエイドは昨年、設立 40 周年を迎えました。(日本法人の設立は 2013 年です。) 毎日の暮らしに欠かせない、水・トイレ・衛生習慣。世界の人々の日常生活に、うるおいと希望を届けませんか？